

# 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

## 1. 研究課題名

思春期自殺企図患者における背景因子の検討

## 2. 研究の対象患者

2011年1月から2022年12月までに旭中央病院に入院し急性期診療に小児科がかかわった自殺企図患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さんを対象とする。

### 1. 選択基準

- 1) 年齢：10歳以上17歳未満(当院では17歳以上は小児科の診療対象外)
- 2) 性別不問
- 3) 入院患者
- 4) 病歴と臨床所見から、自殺を企図した行為およびその結果が入院の理由となった患者さん
- 5) 急性期管理に小児科が関わった患者さん

### 2. 除外基準

- 1) 小児科で関わらなかった患者さん(児童精神科のみの関与)
- 2) 自殺を企図しない自傷行為(リストカット、頭部打ち付け、器物殴打などによる外傷)と診断した患者さん
- 3) その他、研究責任(分担)者が研究対象者として不相当と判断した患者さん

## 3. 研究の対象期間

2011年1月1日～2022年12月31日

## 4. 研究の概要

わが国では、2009年以降、自殺者総数は減少傾向にあるが、10代の自殺者は横ばいないし増加傾向にあり、令和3年の統計では、自殺は10～14歳の死亡原因の第2位、15～19歳の第1位である。また、自殺企図者は、自殺遂者の数十倍に上るとの試算もあり、10代の自殺対策は社会的に重要な課題である。10代の自殺企図症例に関する実態や背景調査は、これまでも報告されているが、多くは精神科領域からの報告であり、主に高校生以上の10代後半の症例を対象としている。これまで、自殺企図患者の急性期診療を担当する小児科からの報告は少なく、10代前半の自殺企図患者の背景因子については不明な点が少なくない。そこで、当院小児科で関わった10代の自殺企図症例の診療情報から背景要因を調査し、リスク因子と予防対策を検討する。

## 5. 研究実施予定期間

2023年3月14日～2024年3月31日

## 6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、入院日、既往歴(発達の、内科的疾患、精神的疾患、自傷歴、服薬歴)、家族歴(家族構成、家族の精神疾患、家族の自殺企図歴、家族内不和)、学校状況(学習成績、不登校、友人との不和、いじめ)病前性格、自殺企図直前のイベント(けんか、試験)、予定されていたイベント(定期試験、入学試験、発表会、試合)、最終観察日

〔自殺企図の手段〕：過量服薬、縊頸、その他

〔血液学的検査〕：RBC、Hb、WBC、Plt

〔血液生化学的検査〕：TP、ALB、AST、ALT、LD、CK、UA、BUN、Cre、Na、K、Cl、Ca、BS

〔治療〕：輸液療法、胃洗浄、活性炭投与、酸素投与、集中治療(ICU入室、人工呼吸、血液透析)

〔転帰〕：生死および後遺障害

## 7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果は研究対象者(又は代諾者)個々には開示しない。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 小児科 北澤克彦

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)